

新規・継続	継続	事業コード	4 - 2 - 2 - ④	事業名	不登校・いじめなどの相談支援体制の充実		
所管課	教育総務部		教育センター	関連課			
事業目標	学校に適應できない児童生徒を支援する場所を提供し、ひきこもり等の児童生徒の家庭から居場所への支援活動を実施します。						
特記事項							
事業工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業費推計(千円)	
	学校・諸機関との連携 相談支援体制の強化と充実	学校・諸機関との連携 相談支援体制の強化と充実	学校・諸機関との連携 相談支援体制の強化と充実	学校・諸機関との連携 相談支援体制の強化と充実	学校・諸機関との連携 相談支援体制の強化と充実	政策	6,740
						経常	84,795
合計						91,535	
予算額(千円)	18,307	18,375	18,231			54,913	
事業実績	相談支援、心のふれあい相談員、メンタルフレンドの活用、教育支援教室・フリースペースの運営、教育センターボランティアの活用	相談支援、心のふれあい相談員、メンタルフレンドの活用、教育支援教室・個別教育支援、教育センターボランティアの活用	相談支援、心のふれあい相談員、メンタルフレンドの活用、教育支援教室・個別教育支援、教育センターボランティアの活用				
決算額(千円)	17,958	17,757	18,034			53,749	
具体的(数値)目標	複雑化・多様化する相談や問題に対し、具体的支援を継続して行えるよう、学校をはじめ関連諸機関との連携強化を図ります。						
達成率	90%	90%	90%				
協働の相手方	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 自治・町内会 <input checked="" type="checkbox"/> その他(学校・関連機関)						
事業履歴備考							
事業実績(詳細)							
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談指導事業(通年)では、相談人数305人、延べ相談件数1,775件の実績がありました。</li> <li>・学校等と36ケース、延べ65回のケース会議を行いました。</li> <li>・スーパーバイザー(精神科医及び臨床心理士)の指導・助言を受け、学校等との連携により、問題の複雑なケースに対応しました。</li> <li>・心のふれあい相談員の活動時間を増やしました(1校133時間)</li> </ul>						
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談指導事業では、313人、延べ2,170件の相談を受けました(前年度比 約22%増)。</li> <li>教育支援教室事業では、小・中学生12人、延べ1,114人が通室しました。</li> <li>スクールソーシャルワーカーを導入しました。</li> </ul>						
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談室事業として、相談指導事業(相談業務、個別教育支援、メンタルフレンド派遣事業、心のふれあい相談員事業、スクールカウンセラー等配置活用事業&lt;県事業&gt;)、スクールソーシャルワーカー巡回相談等強化事業&lt;県事業&gt;)、スクールソーシャルワーク・サポーター派遣事業&lt;県事業&gt;)を実施しました。また、教育支援事業(教育支援教室での不登校児童・生徒への支援)も実施しました。</li> </ul>						
平成24年度							
平成25年度							